



シーサイドニュース

Medical Corporation WADOKAI
Hiroshima Seaside Hospital

2022年
春号
vol.96



新入職員を迎えて 病院長 多田 恵一

広島シーサイド病院にはこの春、看護師5名、介護福祉士2名の計7名を新しい我々の仲間としてお迎えすることができました。今回新たに加わった仲間とともに、多職種での共同作業を、良好なコミュニケーションを基軸とし、スタッフ一同、心をひとつにして「真心ある業務」を引き続き展開してゆく所存です。

2020年1月以来の新型コロナウイルスパンデミックとの戦いは、ワクチン接種の推進、経験の蓄積、種々対策により、現時点では、病床利用率や、重症者などの一定の安定化が期待できる現状を反映し、「緊急事態宣言」、「まん延防止等重点措置」などが出されていない3年目の春とはなりました。しかし、新たな変異株、ワクチン普及のスピード鈍化などで、まだまだ油断はできません。

さて、今、世界はロシアによるウクライナ侵攻で、無辜な民間人、とりわけ高齢者、女性、子供が殺戮されてる非道で悲惨な現実に向き合っています。2月24日にロシア軍が侵攻してもう3か月目になりますが、一向に停戦への動きが見られないようです。第二次世界大戦など、過去の戦禍の教訓をまったく感じられないプーチン大統領のプロパガンダ戦争。そして、何よりも核保有国が独裁的なリーダーのもとで戦争を始めた時の恐怖が現実

ありうるものとして実感しています。被爆国日本はますますこの問題に具体的、積極的に取り組んでいく責務があると痛切に感じます。

国内では、北海道の知床半島の沖合で、4月23日に乗員乗客26人が乗った観光船が遭難沈没した事件では、小さなお子さんを含む14名の死亡が確認されています。そして、懸命の捜索活動の中、いまだに残り12名の安否が不明です(5月10日現在)。一日も早く発見、救助されることを心より祈っています。

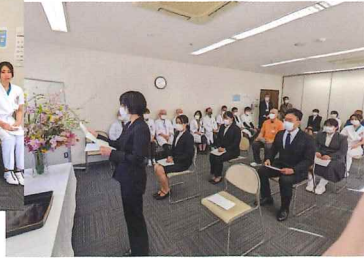
今年は2年に一度の診療報酬改定で、薬価と合わせると、全体の改定率はマイナス0.94%の厳しいものとなりました。コロナ禍で低迷する経済の影響が大きいのですが、我々医療機関は一層工夫を重ねて、効率的で、しかも患者様ご家族に満足いただけるサービスの提供継続と質向上に邁進してゆく必要があると思います。

本年度も、広島シーサイド病院スタッフ一同は、更なる高みを目指し、チーム一丸となって頑張る覚悟です。

関係各位におかれましては、今後とも、ご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

新入職員歓迎

4月1日、入社式が行われ、当院は新たに7名（看護師5名、介護士2名）の職員を迎えました。新入職員は入社式後、新入職員オリエンテーションとして当院の概要から今後の心構えや、医療ケアの基礎知識などの研修を5日間受講し、各部署に配属されました。新入職員のやる気に刺激を受けながら、職員全員で力を合わせて広島シーサイド病院を盛り上げていきたいと思ひます。



私は4年間病棟に勤めた後、転職したクリニックに勤める中で、一人一人への看護を十分行いたい、患者様やご家族と深く関わり支えたいという思いが湧き、広島シーサイド病院への入職を志望しました。現在、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、医療従事者の果たす責任の大きさを日々感じております。私たち、新入職員は、最初のうちは未熟であるため、頼りなく、患者様、ご家族、また先輩方には何かとご迷惑、ご面倒をおかけすることもあるかと思ひますが、チャレンジ精神を持ちながら、何事にも全力で取り組み、病院に貢献できる職員に一日でも早くなれるよう、日々精進したいと思ひます。看護・介護を通じて患者様、ご家族に皆様に頼られる存在になりたいと思ひます。

最後に、広島シーサイド病院の「常に患者様とご家族に立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります」という理念に応えられるよう、一生懸命、誠実に勤めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

5病棟配属 西山瑞歩

熱中症 予防

●熱中症は真夏だけではない

夏を前に、じっとりした湿気とともに気温もぐんぐん上昇する季節です。体が暑さに十分順応できていないこの時期から注意したいのが「熱中症」です。熱中症は、気温や湿度の高い環境（暑熱環境）下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなってしまったために現れるさまざまな症状の総称です。

●知っていますか？ 熱中症

気温が高くなると、私たちの体は汗をかくことによって体内の熱を逃し、体温を一定に保とうとします。ところが、汗を大量にかきすぎると、今度は体内の水分や塩分が不足して脱水状態となり、めまいや立ちくらみなどの、熱中症の初期症状が現れ始めます。熱中症の重症化を防ぐには、「もしかして熱中症かも…？」と疑ったときの早めの対応が大切です。

- 熱中症が疑われた時の対応
- 日差しを避けて涼しい場所に運び、衣類を緩めて安静にする
 - エアコンをつけたり、うちわや扇風機などで体に風を送り、冷やす
 - 太い血管の通っている首やわきの下、太ももの付け根を冷やす
 - 水分（できれば経口補水液やスポーツドリンク）を少しずつ何度も飲む

●マスク×高温多湿→熱中症の危険度アップ！

現在、新型コロナウイルスの予防の為、屋内はもちろん屋外でもマスクを着用している方が多いですが、マスクを着けると皮膚からの熱がにげにくくなったり、口腔内の渴きをあまり感じにくくなり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなります。また、マスク着用下でジョギングした場合は「呼吸障害」を起こし、熱中症などが発生してしまう可能性も指摘されています。このように高温多湿の環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高まることから注意が必要です。

★気を付けよう

屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけましょう。また、周囲の人のとの距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

脱水や熱中症は屋外だけでなく屋内にいても起こります。日頃から栄養バランスのよい食事や十分な休息をとり、暑さに負けない体づくりをしていくことも、脱水や熱中症の予防になります。できることから実践して、元気な夏を迎えましょう！

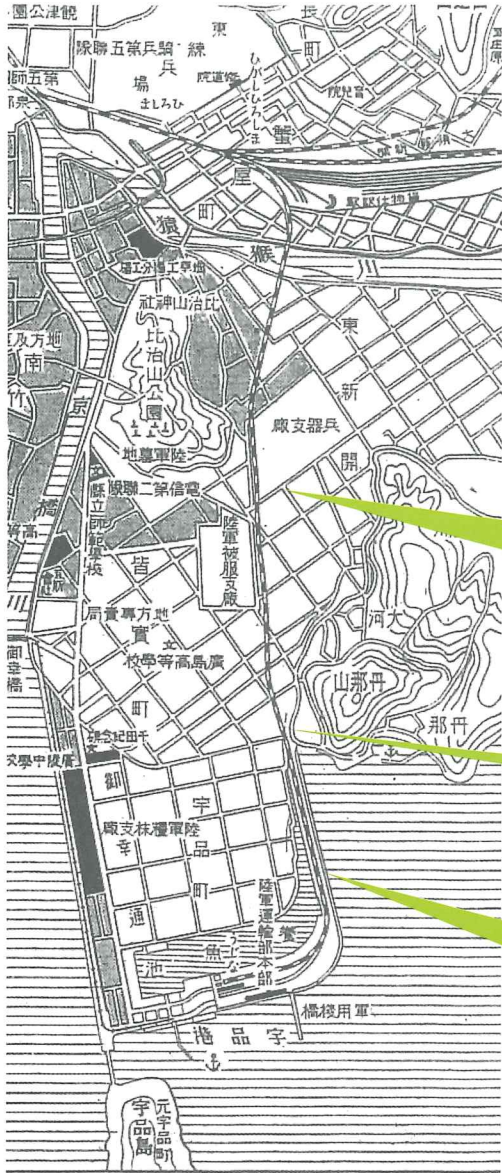


元宇品紹介 番外編② ～旧宇品線～

毎号、元宇品のいろいろな場所を紹介していますが、古い地図を手に入れたので少し元宇品から出て宇品周辺の歴史を紹介していきます。今号は広島駅と宇品港をつなぐ旧国鉄、宇品線です。

宇品線(うじなせん)は、広島県広島市の広島駅から南下し宇品駅までを結んでいた日本国有鉄道(国鉄)の鉄道路線で現在は廃止されています。

当初は日清戦争の人員・物資輸送のための軍事専用線として建設されました。1984年(明治27年)8月21日に開業以降、宇品港から日清戦争・日露戦争・太平洋戦争に出征・復員する兵士や物資の輸送を担い、1945年(昭和20年)8月6日の原爆投下に際しては、比較的被害が少なかった南段原駅～宇品駅間で被爆者の輸送が行われました。戦後は沿線の学校、大学病院、県庁仮庁舎、工場などへの通勤・通学および貨物輸送を行っていましたが、市内の復興が進行するとともに県庁を始めとする沿線の公共施設が市の中心部へと転出、また同様に広島電鉄皆実線・宇品線(路面電車)やバス路線の利便性との差が大きくなり客足が減少したため、1986年(昭和61年)に廃止されました。



旧南段原駅

現在の段原南第五公園に線路跡と行先案内板が設置してあります。



旧下大河駅

線路と踏切警報機のモニュメントが設置されています。



旧下丹那駅

現在はモニュメントのみでパークゴルフ場として利用されています。



◎上の写真のように廃線跡には一部ですが、近辺にいくつかのモニュメントが設置されており、当時の名残を感じることができます。

季節の行事食

毎日の食事以外に季節や暦に合わせた行事食を提供しています。今回は4月1日にデイケア・デイサービスに提供したお花見弁当を紹介します。

お花見弁当

- ◆桜押し寿司
- ◆サーモントラウト塩焼
- ◆和え物
- ◆炊き合わせ
- ◆清汁
- ◆果物



脳の若返り

次の熟語の対義語は何でしょうか?出来れば漢字で書きましょう。

- | | | |
|-------|---|---------------------------------|
| 例) 安全 | ⇔ | <input type="text" value="危険"/> |
| 1) 短縮 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 2) 許可 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 3) 現実 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 4) 慎重 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 5) 保守 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 6) 平凡 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 7) 反抗 | ⇔ | <input type="text"/> |
| 8) 敏感 | ⇔ | <input type="text"/> |

→答えは裏表紙(頁下部)

♥信頼される医療・福祉をめざして…

■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

外来案内のご案内 休診日/土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30 13:00~16:00	荒巻	上杉	池田 沖田	山本	上松瀬 日域

●脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

広島シーサイド病院

診療科目/内科・脳神経内科・リハビリテーション科・放射線科

医療養護病床183床・介護医療院147名(定員)

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 広島シーサイド病院 介護医療院 TEL (082) 255-1010
- 通所リハビリテーション TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品 TEL (082) 255-1221
- グループホーム元宇品 TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品 TEL (082) 255-1271
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422

■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

●ごあんない



- バス/広島バス21号線(宇品線)シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車/広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー/広島駅より元宇品方面へ約30分

【脳の若返り】答え 1) 延長 2) 禁止 3) 理想 4) 軽率 5) 革新 6) 非凡 7) 服従 8) 鈍感

編集後記

広島シーサイド病院の2階廊下の窓からよく見える場所にツバメが巣を作っています。この場所は毎年、必ずツバメが巣を作り、卵を産み、子ツバメを育て、そして巣立っていく場所です。職員が「あ、もう生まれてる」「だいぶ大きくなったね」などと足を止めて巣を眺める姿も毎年恒例になっています。

皆さんご存知のとおりツバメは渡り鳥ですが、その渡る距離は2,000~5,000kmといわれています。そんな遠い旅をしてきて「古巣に戻ってきたのは、去年と同じツバメ?」という疑問を持ち調べてみたところ、2014年に大阪府の河内長野市の商店街で行った足環調査(足に識別用のリングをつけて行う調査)の結果によると、翌年も同じ商店街に戻ってきたツバメは約4割で、さらにその中でも4割程度が前年と同じ巣に戻っていたそうです。もちろん他の場所で巣を作るツバメもいるとは思いますが、そもそも、あんなに小さな身体で、しかも生まれて数か月で遠い距離を旅することはとても過酷であることが容易に想像できるので、無事戻ってくること自体が大変なことでしょう。

現在、広島シーサイド病院の2階軒下にある巣は雛が孵り、親ツバメが一生懸命、食事を運んでいる最中です。無事巣立って、また来年元気に帰って欲しいなと親のような気持ちで私も見守っています。



(編集N)